

健康教育・理科教育で受賞

明倫小学校

健康づくりで 十五回目の受賞

昭和三十年前半から「自分の健康は自分の手で」をスローガンに、健康・安全・体力づくり・環境衛生・学校給食等幅広い活動を明倫小学校は続けてきました。それが、昭和三十三年の表彰以来、朝日新聞社から三回、山口県教育委員会から十一回の健康優良校、健康優良校、準健康優良校、健康優良校としての表彰となりました。今年九月、通算十五回目は準健康優良校としての表彰でしたが、「健康宣言の町」を

理科教育で

全国に紹介

恵まれた自然を生かし、理科を中心に「考える子供の育成」を目指す教育を昭和五十九年から進めてきた明倫小学校の取り組みが、特色ある学校として、全国に紹介されました。

教育機器 一式を受賞

二十年の歴史を持つ全国誌「初等理科教育」が七月に発行した「明日をつくる理科教育の実践」を特集した増刊号に取りあげられたのです。研究の内容、取り組み、実践事例等が六ページにわたって掲載されていますが、本校自慢の一つである「どろんこ砂場」楽しく遊びながら学んでいる光景が、表紙のカラー写真に採用されているのも目をひきます。

学研教育賞受賞

浅田小学校

本校は昭和五十三年四月より、人間尊重を基盤とする教育実践の立場から、全校児童縦割りの六班編成による仲よし活動を推進してきました。

主要な六大学校行事の計画、実践を、仲よし委員会を中心として児童が自主的、協力的に展開し、相互に助け合い励まし合うなどの温かい心構面が陶冶されてきました。

昭和五十九年度からは児童に喜びのある学校づくりをめざし、仲よし活動も、一人ひとりが集団の中で生かされるよう工夫され、活動内容も一段と充実してきました。

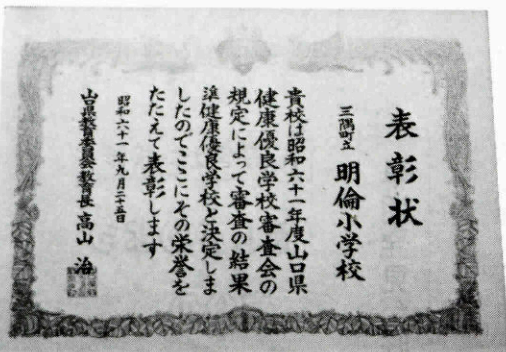
その結果、明るく生き生きと学校生活を楽しむ子どもたちが増加し、喜んでいきます。

また、社会科学習を通しての学習の喜びをも児童に体感させるよう、郷土資料の開発と教材化、学び方の学習、10の生活リズムの定着等、教師児童、保護者と三位一体となって努力を続けてきました。

昭和五十九年度から二

か年、山口県「教育課程」の研究指定校として研究実践も深化拡充させ、昨年十一月にはその研究発表会を開催しました。

なお、昨年八月には水泳優秀校として全国表彰を受けましたが、地域の皆様方の献身的なご協力も結実しての学研教育賞受賞を深謝しています。(昭和六十一年十一月四日受賞)



▲ 4年生の流水実験

理科を中心とした明倫小学校の取り組みを「一人ひとりの特性を伸ばす活動の工夫」「自主的な活動をうながす環境の工夫」「今後の発展への具体策」三部からなる論文にまとめ、実践事例や資料を添えてソニー理科教育振興資金審査会に提出しました。その結果「優良校」に選ばれ、研究費と8ミリビデオ、カラーテレビなど教育機器一式が贈られることになり、九月に贈呈式がありました。子どもたちには記念品のルーベが贈られました。本年度も研究は継続されさらに深められ、未来を担う子どもたちのために、豊かな心を育てようと学校をあげてがんばっています。



(写真は年度当初仲よしオリエンテーションで六大学校行事を発表する児童)